

切ったの?伸びたの?

No.13 さっちょこ作



あるあるメモ

抗がん剤治療が始まって、2~3週間後から脱毛が始まり、個人差がありますが、治療終了後ショートのまままで生え揃うには、半年から1年ぐらいかかります。その間ほとんどの人がウィッグのお世話になっています。ウィッグを卒業したショートヘアのがん患者さんに出会った時は、その生まれ変わった髪に拍手を送ってください。「髪切った?」は愚問ですよ!

あるある情報

抗がん剤の治療で、髪の毛が脱毛してしまうと、生えてくるまでウィッグが必要不可欠ですが、夏場のウィッグは、暑くて蒸れるので、頭皮へのダメージも大きいのです。そこで活躍するのが、襟足だけ髪の毛のついた帽子です。これは汗をかきにくく、とっても便利です。ネットでも気軽に購入できるので、試してみるのもいいかも...

こころの駅舎 がん患者

“あるある”かわら版

温泉に行ったよ!



こころの駅舎はいつも笑顔にあふれ、賑やかです。この集いの場は、一見「がん」という病気に向き合い、悩みや不安を抱えながら過ごしている人たちが集まっているとは思えないかもしれません。それくらいこころは、参加者の笑顔と優しさに包まれています。

しかし、この場所に来るまでの一歩が踏み出せず、多くの時間を費やした方も少なくはありません。そんな勇気を振り絞って参加された一人、乳がんの患者さんが、「温泉に行ってきたよ。先着20名様にお土産!」と言ってお饅頭を持って来てくださいました。抗がん剤治療や脱毛・しびれなどの副作用、次々に襲ってくる精神的不安などと日々向き合ってきた患者さんが、温泉を楽しむ気持ちに至るまでにはきっと葛藤の道のりがあったはず。私にはお饅頭が、宝石のように輝いて見えました。



「髪の毛付き帽子」ちよい足し情報

髪の毛のついた帽子など、抗がん剤治療中の脱毛対策は色々ね。帽子の場合、髪の毛の長さもショートからロングまで色々選べるし、髪の毛が部分的に付いているので、通常のウィッグに比べてリーズナブルよ。

日本乳癌学会ホームページより



ウィッグ(かつら)



つけ毛と帽子



屋外用帽子




バンダナ



就寝用

“4コマ漫画”に込めた思い

 4コマ漫画には「こころの
 駅舎」に参加されているがん
 患者さん・ご家族を中心に、
 患者さんを支える医療スタッ
 フなどが登場しています。
 ユーモラスに描かれるがん患
 者さんの日常(療養)生活
 のひとコマが「こんなこと“ある
 ある”」「こんなことがあるん
 だ・・・」と、がんに対する理解
 を深めるきっかけになればと
 願っています。



*漫画を描いてくださっている さっちよこ
 さんは、がん患者さんのご家族です。

■ 毎月第4木曜日

■ 開催形態

イベント型(4月、8月、12月)

[時間] 14:00 ~ 15:30

定期型(上記以外の月)

[時間] 14:00 ~ 18:00

■ 東広島芸術文化ホール くらら

東広島市西条栄町7番19号



*「がん患者“あるある”かわら版」小冊子に
 についてのお問い合わせは、
 (一社)東広島地区地域連携室あざれあ
 にお問い合わせいたします。



第13号(令和元年7月25日)



〈事務局・発行協力〉
 一般社団法人 東広島地区医師会
 地域連携室あざれあ
 電話：082-493-7360
 FAX：082-493-7361

